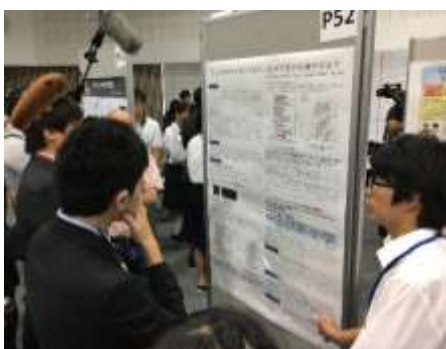


高校生バイオサミット in 鶴岡 山形教育委員会教育長賞受賞

7月27日(木)～29日(土)に山形県鶴岡市で開催された第7回高校生バイオサミット in 鶴岡に生物部1年生1名と2年生2名が参加しました。

このサミットでは、バイオ研究の世界的な拠点である山形県鶴岡市にて日本の将来を担う全国の高校生が集結し、世界最先端の研究施設を見学するとともに、日ごろの研究成果を発表し合います。

本校は「日本ドブガイ類の種分化」のテーマでポスター発表し、山形県教育委員会教育長賞を受賞しました。



地学部 SS フィールドワーク

7月31日(月)～8月2日(水)に、地学部1年生3名と2年生6名がマイクロバスをチャーターして、糸魚川・長野方面の巡検をおこないました。一日目は、浅間火山博物館とその周辺の溶岩露頭(鬼押出し)の巡検、草津白根山の見学、二日目は糸魚川のフォッサマグナミュージアムと市内の各ジオサイトの巡検、野尻湖ナウマンゾウ博物館と黒姫火山の火山灰層の巡検、三日目は長野市戸隠地域の巡検・化石採取と戸隠地質化石博物館の見学をおこないました。埼玉では見ることでできない火山や地学現象を観察・体験しました。



糸魚川市小滝ヒスイ峡の巡検

全国 SSH 生徒研究発表会 in 神戸

年に一度、全国200校余りのSSH校などが一堂に会して生徒研究の発表をおこなうSSH生徒研究発表会が8月8日(火)～10日(木)に神戸国際展示場でおこなわれました。海外から招待された25校の発表などもあり、たいへん盛大に実施されました。松高からは地学部が参加し、「青空のスペクトル分析」というタイトルで発表をおこないました。2年生3名と3年生2名が、“なぜ青空の低い方向は白っぽく見えるのか”の研究内容をポスターとスライド(アピールタイム)で熱っぽく発表してきました。

